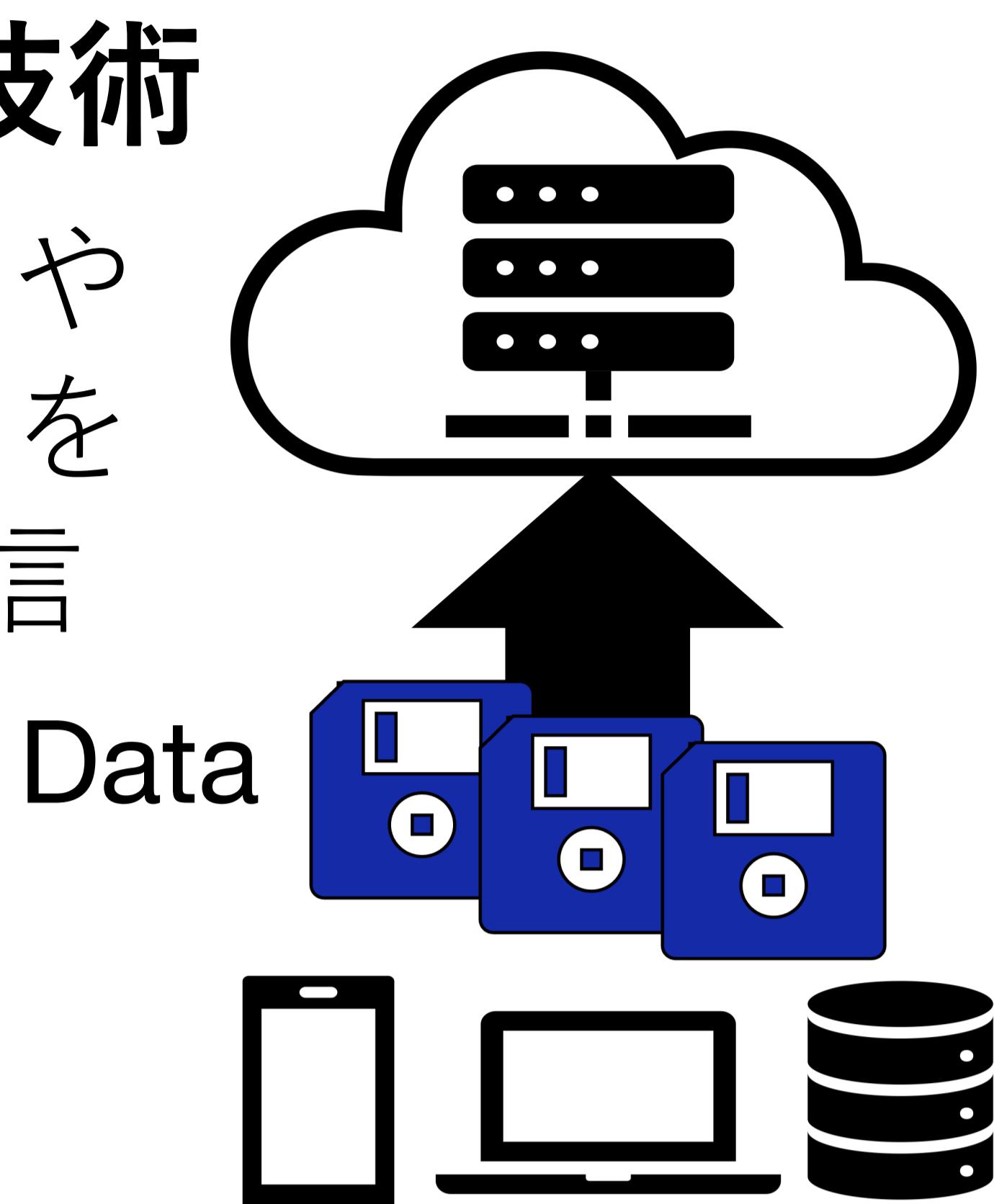


## 特徴: 入力データを社外に出さずにエッジでAIを利用可能

### 従来のエッジAI技術

入力となる画像やテキストデータをエッジサーバに送信



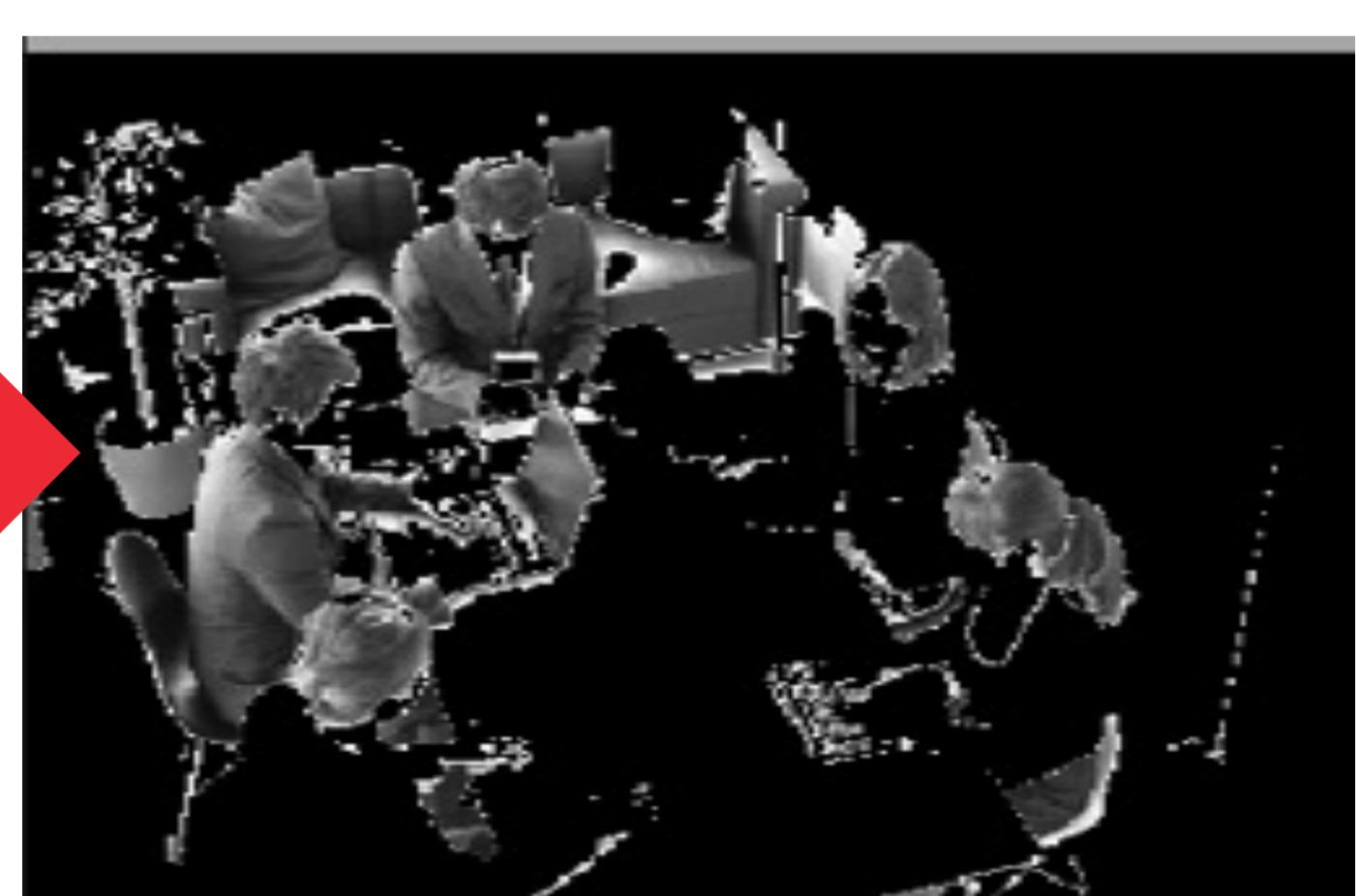
**データ漏洩や不正利用のリスク**

### プライバシ保護型エッジAI

個人情報が除去された中間データのみを送信することで入力データを秘匿



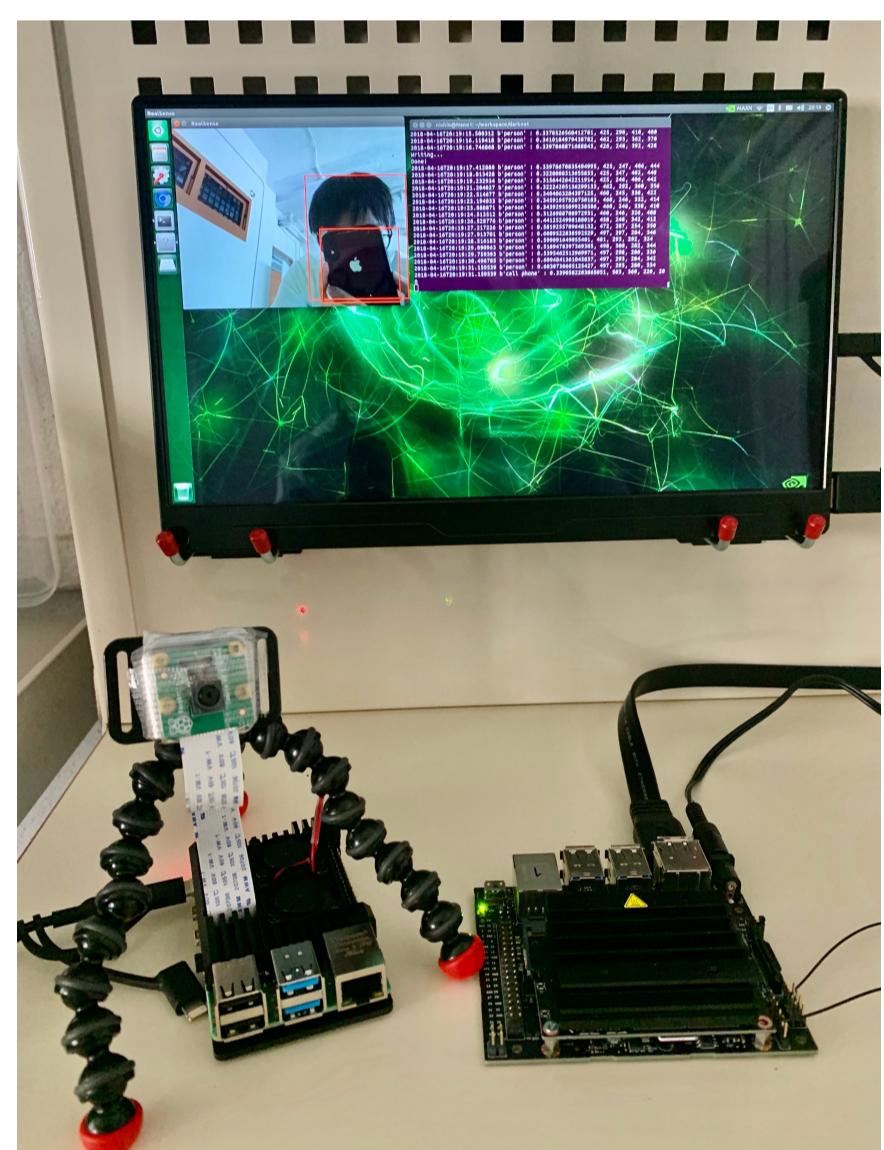
変換



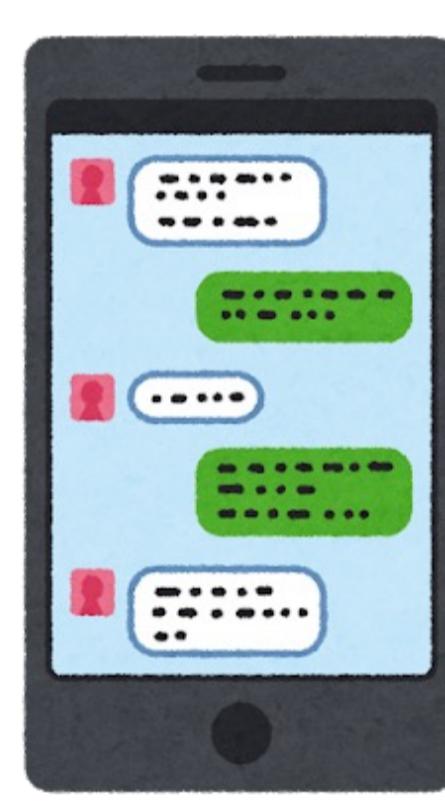
## 特徴: 幅広い応用が可能 (※機械学習モデルは別途準備が必要)

### 応用例

人流計測  
侵入検出  
見守り



テキスト生成  
自動応答  
大規模言語モデル



画像生成



音声認識



## 技術展示: エッジAIによる物体検出

画像そのものはラズパイからエッジサーバに送信せずにリアルタイムかつ高精度な物体検出を実現



制御端末: Laptop  
物体検出モデル:  
YOLOv7 (modified)

エッジサーバ:  
Jetson AGX Orin

観測端末: Rasp Pi 4 w/ cam

## 技術詳細: Split Computing

大規模機械学習モデルを利用者とサーバで分散処理。モデルを分割し、利用者（データ入力者）はモデルの入力側 (HN: Head network) を保持し、クラウドには出力側を配置。処理した中間データを送信することで、入力データを秘匿可能

